

地理 | 赤道に沿った暑い地域の暮らし～熱帯の地域と人々の生活～ 教育出版

本時のねらい

1. 熱帯地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活の工夫と生活の変化について理解する。
2. 熱帯気候の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから熱帯気候の特色を捉える。

デジタル教科書（+教材）活用の意図

地理において資料から情報を読み取り、表現し考察する力は重要とされる技能の一つである。本単元では、熱帯地域の雨温図や景観写真を題材として、それらの技能を養うなかで、生徒の主体的な活動と考えを深めるためのツールとしてデジタル教科書を活用する。

社会におけるスタンダードのデジタル教科書活用のポイントは、ここだ！

拡大する

資料1「高床式の住居」、資料2「その内部」を拡大する。写真や図を拡大することで写真の細部まで確認できるほか、書き込みがしやすい大きさに調整することができる。(学習活動2)

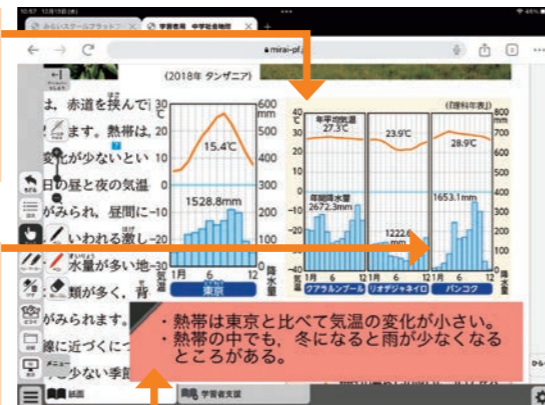
- ・仕切りや壁がなく、広い部屋になっている。
- ・エアコンはなく、扇風機だけのようだ。



(教育出版 地理 p.32)

並べて比較する

異なるページにある雨温図を並べて比較する。デジタル教科書の機能を使うことで、異なるページにある資料も並べることができ、比較しやすいため、各地域の気候の特徴の違いを視覚的に捉えやすくなる。(学習活動4)



(同 地理 p.31, p.33)

書き込む

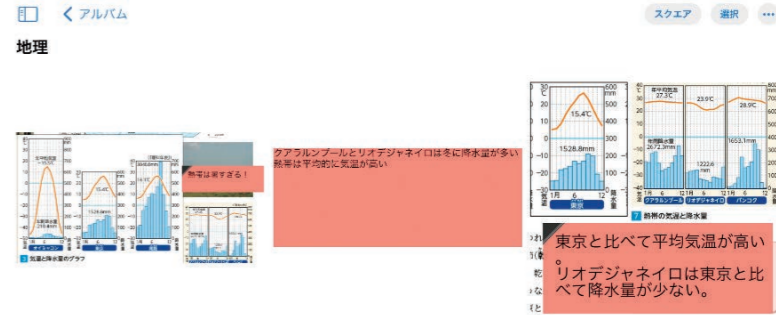
p.31 資料3「気温と降水量のグラフ」の「東京」の雨温図と比較し、気候の異なる点として注目したところに丸をつけたり、線を引いたりする。また、読み取った気候の特色を「ふせん」に書き込む。そうすることで、各生徒が着目したポイントが可視化され、教師は生徒のつまづきに気付くやすくなるほか、読み取った事象を「ふせん」に書かせることで文章表現力を養うことができる。(学習活動4)

●学習活動（学習形態、学習活動内容）

学習活動 (学習形態・学習活動内容)	デジタル教科書+教材活用部分	指導上の留意点
1. マレーシアの位置を確認させる。	地図帳を使い、マレーシアの位置を確認する。	赤道との距離（緯度）を確認する。
2. マレーシアにみられる住居の特徴について写真から読み取った後に、「なぜそのような特徴を持った住居がみられるのか」についてグループで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書を利用して、資料1「高床式の住居」、資料2「その内部」から構造や材料などの住居の特徴を読み取る。 ・「なぜ高床式住居がみられるのか？」について、マレーシアの位置を踏まえて考えを出し合いながら話し合う。  <ul style="list-style-type: none"> ・教師が用意した資料や Google Earth を用い、近代化した都市部の様子とそこでの生活様式を確認する。 	「もしも、日本でこのような住居だったら、人々は住みやすいといえるだろうか？」などという想定から、気候と住居の特徴を結びつけて考えられるように助言する。
3. 熱帯の分布域を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書を利用して、資料4「熱帯の気候分布」の赤道と南北回帰線を赤ペンでなぞり、熱帯が低緯度地域に集中していることを確認する。 	
4. 雨温図から熱帯の気候の特色を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書を利用して、資料7「熱帯の気温と降水量」の熱帯の雨温図の横に、p.31 資料3「気温と降水量のグラフ」中の東京の雨温図を並べて比較し、着目したところ、読み取ったことを書き込んで全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ソフトを使って生徒の書き込んだ画面をスクリーンに映し出す。 
5. 熱帯の植生景観の特徴と分布をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集、Google Earth 等で植生の違いを確認し、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サバナについては、雨季と乾季の植物の様子を見せ、「なぜ植物の様子に違いが生じるのか」を学習活動4と関連づける。



iPad を使用する場合、生徒が書き込んだデジタル教科書の画面をスクリーンショットして AirDrop で教師に送信し、全体に共有することもできる。



東京と比べて平均気温が高い
リオデジャネイロは東京と比べて降水量が少ない。

(同 地理 p.31, p.33)

事例1 <歴史>大名行列図〔拡大して書き込む〕

〔機能面〕 図を拡大して見て、気付いた箇所にマーキングする。

〔学びのスタイル〕 図から、気付いたことを全体で出し合い、大名行列の規模やそれに掛かる費用について考える。

〔デジタル教科書の活用効果〕 紙の教科書では行列図を焦点化しにくい、拡大（図表拡大機能）して見ることでそれぞれが捉えた視点がわかりやすく共有することができる。拡大した箇所を切り取り、発表（共有）に使用するなどしてわかりやすく他者に伝えることができる。また、大名の居場所をマーキングすることも可能になる。気付きを付箋機能で書き込んで共有することも可能になる。



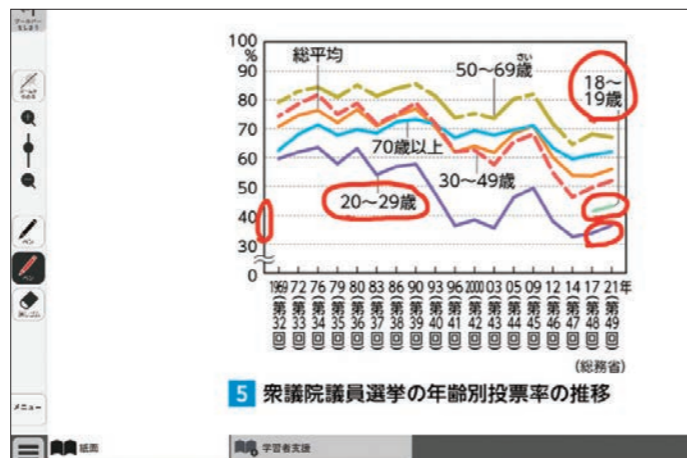
(教育出版 歴史 pp.116-117)

事例2 <公民> 18歳選挙権と私たち グラフ「衆議院選挙の年齢別投票率の推移」〔拡大して書き込む〕

〔機能面〕 グラフを拡大して見て、気付いた箇所にマーキングする。図表拡大機能で拡大したグラフを切り取り、共有に使用する。

〔学びのスタイル〕 グラフから、気付いたことを全体で出し合い、若い世代の投票率が及ぼす影響について話し合う。

〔デジタル教科書の活用効果〕 紙教科書であると、焦点化しにくい、拡大して見ることで、わかりやすく共有することができる。18～19歳の投票率にはマーキングさせるなどして自分事として考えさせることができる。付箋に書き込み共有してもよい。



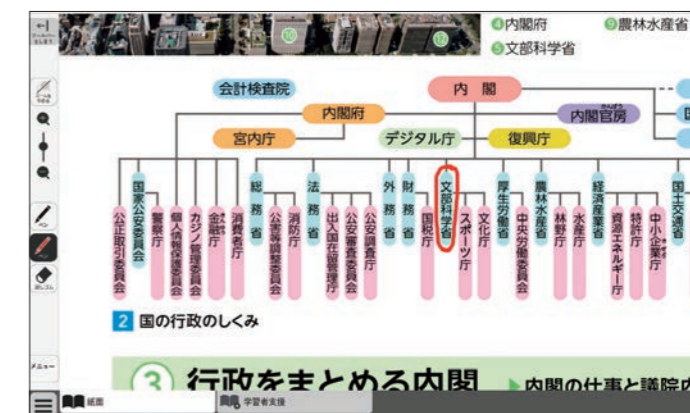
(同 公民 p.89)

事例3 <公民> 国の行政のしくみ〔拡大して書き込む〕

〔機能面〕 図を拡大して見て、気付いた箇所にマーキングする。

〔学びのスタイル〕 p.100「国の行政のしくみ」を拡大し、切り取る。自分がなりたい大臣を決めて、その省庁がどんな役割を果たしているのかを調べた上で、どんなことに取り組むのか、表明する。

〔デジタル教科書の活用効果〕 ズーム機能で図を拡大することで、興味・関心のある省庁を探しやすくする。



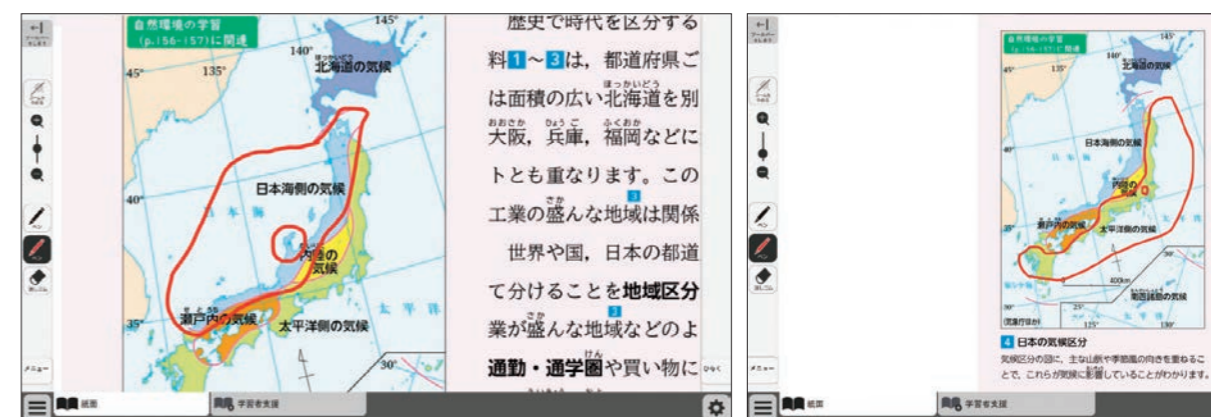
(同 公民 p.100)

事例4 <地理> 地域区分〔拡大して書き込む〕

〔機能面〕 p.149：図7「気象庁の地域区分」を拡大して、興味・関心を持った、調べたい地域区分を書き込む。

〔学びのスタイル〕 図7「気象庁の地域区分」を拡大して、興味を持ち、調べてみたいと考えた地域区分を書き込む。どうして興味を持ち、調べてみたいのか、考えを交流する。

〔デジタル教科書の活用効果〕 ズーム機能や、拡大機能を使用し、図7「気象用の地域区分」を拡大し、興味・関心を持った地域区分を交流することで、学びのオリエンテーションとして意欲を持たせる。



(同 地理 p.149)

1年 | 世界の食糧庫～広大な土地と大規模な農業～ 教育出版

本時のねらい

1. アメリカ合衆国が世界有数の農産物輸出国であり、大規模な適地適作の農業経営など、さまざまな面で世界の食糧庫として影響力が大きいことを理解する。
2. アメリカ合衆国の自然環境と農業地域の分布の関係について考え、表現できる。

デジタル教科書（+教材）活用の意図

本単元では、「世界の食糧庫」といわれるアメリカ合衆国の農業の特徴を捉えていく。授業では、「なぜアメリカ合衆国は安く、大量に農産物を生産できるのか」という問いを主題とし、デジタル教科書の諸機能を使いながら資料を比較、考察することで、「大規模経営」、「適地適作」、「機械化」、「科学技術の導入」といったアメリカ合衆国の農業の特徴を捉えるという本時のねらいに迫る。まとめとして、動画を視聴することで生徒のイメージを具体化する。

社会におけるスタンダードのデジタル教科書活用のポイントは、ここだ！

拡大する

日本では見られない農業形態は、生徒の興味・関心を引き付ける。さらに、デジタル教科書では拡大が可能なので、**生徒の探究心を刺激したり、新たな気づきを得たりすることができる。**（学習活動2）

- 資料1「上空からとらえた農地」
・農地以外は茶色いけれど、なぜだろう？
- 資料5「肥育場で育てられる肉牛」
・草は生えていないようだけど、何を食べているのかな？
・肥育場全体は広いけれど、仕切りがある。

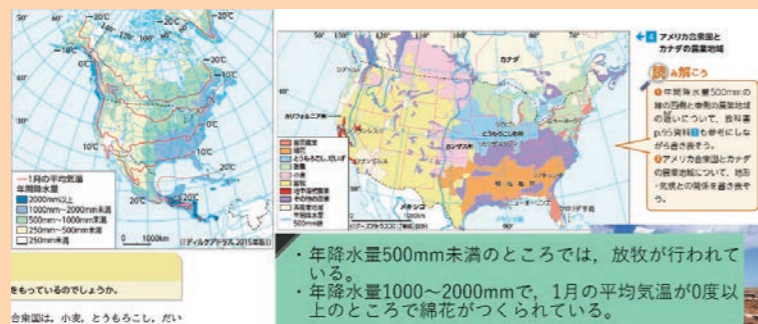


並べて比較する・書き込む

資料の比較をして、他地域との違いや分布の特徴についてグループ内で話し合い、**考えを深める。**（学習活動3・4）



アメリカ合衆国の方は、中国と比べると人が全然いないみたいだ。どうやって水をあげたりしているのだろう？



（教育出版 地理 p.37, pp.95-97）

確かめる

アメリカ合衆国の豊かな自然環境に合わせた「適地適作」と機械化の進んだ合理的な経営が、農産物を安く大量に作ることを可能にし、「世界の食糧庫」として世界の食糧事情に大きな影響力を持っていることを確認する。
動画を視聴することで、教科書の内容を視覚的に補足し、アメリカ合衆国の農業の特徴を具体的にイメージできるようになる。（学習活動5）



学習活動（学習形態、学習活動内容）

学習活動 (学習形態・学習活動内容)	デジタル教科書+教材活用部分	指導上の留意点
1. アメリカ合衆国の世界の農産物生産・輸出量に占める割合を確認する。	・資料3「主な農畜産物の生産量と輸出量の国別割合」を見て、アメリカ合衆国が様々な農産物を世界に向けて輸出していることを確認する。 ・牛肉を例に挙げ、国産と米国産の価格を比較する。 →「なぜアメリカ合衆国は、農産物を安く大量に生産できるのか？」を主題として設定する。	スーパーマーケットでの牛肉の価格など、生徒の体験からアメリカ合衆国の農産物の安さに気付かせる。
2. アメリカ合衆国の農業の様子を確認する。	・資料1「上空からとらえた農地」、資料5「肥育場で育てられる肉牛」を拡大し、気付いたことや疑問に思ったことを3～4人のグループで共有する。	
3. グループごとにアメリカ合衆国の農業の様子や農業分布の資料を比較し、主題について話し合う。	・資料1「上空からとらえた農地」と p.37 資料6「田植えを行う人々」を並べて比較する。 ・資料4「アメリカ合衆国とカナダの農業地域」と p.95 資料3「北アメリカの気温と降水量の分布」を並べて比較する。	既習内容である気候と農産物の栽培条件の関係について、復習させてから取り組ませる。
4. グループで話し合った内容を発表する。	・グループの代表者が、自分たちの書き込んだデジタル教科書の画面を示しながら発表する。	
5. 動画を視聴する。	・クラス全体で NHK for school などの動画コンテンツを視聴し、アメリカ合衆国の農業の特徴について確認する。	「世界の食糧庫」である一方で、灌漑による地下水の枯渇、連作障害などの持続可能性に関する問題や遺伝子組み換え作物の安全性に関する問題を抱えていることを確認する。

〈プラス1〉広げる

資料集などを使い、日本とアメリカ合衆国などの農業規模をデータで比較することで、写真からだけでは読み取れない、**具体的な規模の違いについて実感をもたせることができる。**また、得た知識やイメージを他の国にも当てはめて考えることができる。

「主な国の農業規模の比較」
（帝国書院資料集）

	アメリカ合衆国	カナダ	日本	フランス
耕地1haあたりの肥料消費量	127.5 kg	102.2	268.0	161.7
耕地1haあたりの穀物収量	2909.8 kg	1470.0	2838.0	3531.1
1人あたり穀物収量*	207.6t	197.1	4.8	95.3
1人あたり耕地面積*	71.3 ha	134.1	1.7	27.0

*農林水産業従事者1人あたり -2017年-[FAOSTAT]

- ・大規模なのはわかったけど、具体的にはどれくらい違うのだろう？
- ・大規模経営なのはアメリカ合衆国だけなのか？

事例1 <歴史> 絵巻「室町時代の田植えの様子」(拡大して書き込む)

[機能面]

p.82 絵巻「室町時代の田植えの様子」とp.69「鎌倉時代の田植えの様子」をそれぞれ切り取り、横並びに表記して比べることができる。

[学びのスタイル]

鎌倉時代と室町時代の絵巻を比べ、室町時代の農業の発達について話し合う。

[デジタル教科書の活用効果]

紙の教科書ではP.69とP.82を行ったり来たりしながらの比較になるが、絵巻を切り取り、並べることで、比べやすく、変化がとてわかりやすくなる。室町時代の農業の発達について理解することができる。



(教育出版 歴史 p.69, p.82)

事例2 <公民> p.93「年齢階層別のメディアへの信頼度」(グラフ)とp.94「油まみれの水鳥」(写真)を並べる。(並べて比較して書き込む)

[機能面]

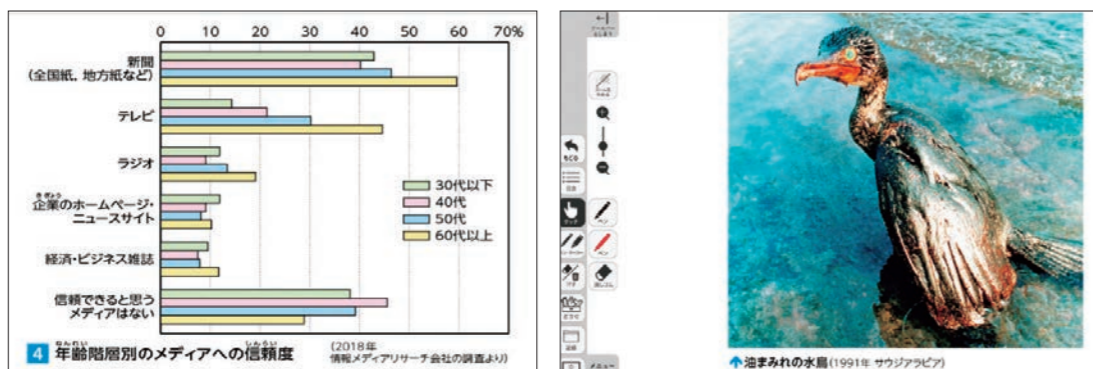
ページがまたがるので切り取って2つの資料を並べることが紙の教科書ではできないが、デジタル教科書では可能になる。

[学びのスタイル]

グラフデータを比べる。「信頼できると思うメディアはない」が多い理由を、水鳥の写真に関連づけて考える。

[デジタル教科書の活用効果]

水鳥の写真の他に指導にあたる教師から最近のフェイクニュース資料を配付することも考えられる。



(同 公民 p.93, p.94)

事例3 <歴史> p.108 合戦屏風「長篠の戦い」とp.84絵巻「応仁の乱」を比べる + 長篠合戦屏風

(織田信長・徳川家康・豊臣秀吉・武田勝頼:全員がそろっている:重要な合戦であったことがわかる)(並べて比較して書き込む)

[機能面]

2つの屏風と絵巻を切り取り、並べて、比べて考える。

[学びのスタイル]

p.108 合戦屏風「長篠の戦い」とp.84 絵巻「応仁の乱」を比べ、戦い方の特徴を記述し、比べて、違いを話し合う。

[デジタル教科書の活用効果]

比べる際に、切り取り、屏風・絵巻を拡大することで、より細かなところまで確認することができる。また、p.84とp.108を行ったり来たりすることなく比べることができる。



(同 歴史 p.84, p.108)

事例4 <地理> 雪と氷に囲まれた地域の暮らし(並べて比較して書き込む)

[機能面]

熱帯と冷寒帯にみられる住居には高床式という共通点があるが、高床式にする理由は異なっている。その理由について、違うページにある両地域の写真を並べて比較することで、考察しやすくなる。

[学びのスタイル]

教科書 p.32, 39 の高床式住居を拡大して並べ、比較する。さらに気付いたことを付箋に書き込む。

[デジタル教科書の活用効果]

拡大して並べることで、より細部に注目した比較がしやすくなる。



(同 地理 p.32, p.39)